



朝日山公園荒井堤

須藤 功



問 いつまでたつても荒井堤の水質改善に至らないのではないかと。

復興・都市整備課長 本年度より雨水を活用した水質改善を国への交付金要望を含め、段階的に取り組んでいきたいと考えています。

問 国へ要望し、公園の水質を改善していく動きをしていくのか。

復興・都市整備課長 国へ要望している部分は水門を設け、計画的に堤の水を排水する形です。

問 河川法で、沼の泥は流してはいけないはずだ。国に対して、どのような要望をしているのか。

例えば、ゲート造って泥まで流してしまうと、河川法に触れるからあくまでも水位を下げるための工夫なのか。

建設部長 汚泥については以前質問がありました。今回の事業は汚泥を処分するという話ではありません。あくまでも雨水を活用した水質浄化で、降雨前に事前に落水をして、降雨によって水質改善をします。今年度は事前排水をするための放流水路です。令和3年度に予定しているのは、ゲートを

設置することを国に要望しているところです。

泥を取り除くこと考えて

問 去年の一般質問では国に対してゲートを造ろうとか、水位を下げようとか、そういう話はなかった。市内だけでなく市外の人も多く訪れている。公園にお金を掛け、土砂、泥を真剣に取り除くということを考えてほしい。

建設部長 計画で調整ゲートは池干しするまでの調整機能があります。従いまして、もつと先の話になると思いますが、池干しまで行う。池干しをして、酸素に触れれば無害化される部分もあります。さらに、ヘドロではないので、コスト的に取り出せる可能性もあります。そういったことも視野に入れて、この工法を想定しているところです。

◎その他の一般質問  
・ 中学校の部活動



福祉・介護分野におけるICTの利用促進

菊地 忍



問 日本は世界各国よりデジタル化の分野で後れを取っており、中でも最も遅れている産業は、「福祉・介護分野」であるとも言われている。厚生労働省は、2022年度までに介護分野におけるデジタル化の実現を計画していたが、新型コロナウイルス感染症が広まったことにより、計画を2021年に前倒しする意向を打ち出した。市としては、ICT化の利用促進について、今後どのような取組を考えているのか伺う。

健康福祉部長 今後介護分野のICT化や業務効率化の動向を踏まえながら、まずは先進事例を勉強して行きたいと考えています。

問 市長の政策にもAIやIoTなど最先端技術を活用した政策にしっかりと取り組むと言っている。市長の見解を伺う。

市長 総務省も医療分野等で統一的な方針を打ち出している。動きをしっかりと見ながら、後れることのないよう進めていきたいと思えます。

働く人口が減少する中で

問 今後ますます働く人口が減る中で、福祉・介護分野において、デジタル化で業務効率が上がると思われる業務を伺う。

健康福祉部長 効率化が考えられる業務としては、要介護認定をはじめとする各種の認定審査、さらには医療費助成や各種給付の請求審査、そういった多様な業務が考えられます。

問 今、教育委員会が中心となり子どもたちのICT教育を進めている中で、将来子どもたちに魅力を感じてもらえるような職場となるようデジタル化を進めていく必要があると思うが見解を伺う。

市長 介護・福祉・医療のみならず多くの分野でデジタル化に進むうとしています。引き続きアドバイスをもらいながら進めていきたい。

◎その他の一般質問  
・ コロナ禍に対応した職員の勤務形態等